

新たな教職員の学びに資する
オンデマンド動画の作成・活用の工夫
～第1次案～

令和5年3月



1 はじめに

主体的に学び続ける教職員が求められる中、新たな教職員の学びに資する質の高い学習コンテンツの提供が重要となっています。今回、教職員支援機構では、このような学習コンテンツとして、特に、時間的・場所的な制約のないオンデマンド動画の作成やその教職員研修への活用の工夫について、関連事例とともにまとめました。

なお、オンデマンド動画を活用した研修を企画する際には、以下のように「①テーマ検討→②目標の設定→③動画の作成・活用→④研修の評価」の4つについて検討が必要です。大切なのは、作成の過程で、研修の目標を実現する動画(シリーズ)となっているかを考え、②と③の間を行ったり来たりしながら見直しを行うことです。本資料については、「③ 動画の作成・活用」に焦点を当てて作成をしています。

実施前	段階	実施すべき事項
	① テーマ検討	ニーズの把握 - 児童生徒の状況、学校の取組状況、社会的な状況を踏まえ、喫緊の課題を把握する。 研修テーマの決定 - 把握した喫緊の課題を踏まえ、研修で取り上げるべきテーマを決定する。
	② 目標の設定	研修目標の設定 - 研修実施後に受講者がどのようなことを目指すか、具体的に記述する。 - 行動目標として「何が」「どの程度」出来るようになるか可能な限り具体化する。 研修内容の設定 - 決定したテーマに対して、研修ではどのような内容を取り扱うか具体的に検討する。
実施後	③ 動画の作成・活用	学習効果の最大化を狙い、工夫を凝らした動画の作成や研修への活用を検討する。 I. 動画の作成 II. 動画の活用
	④ 研修の評価	受講者アンケートなどを実施し、改善に資する情報収集の方法を検討する。

次頁以降に詳細をご紹介します

2 動画の作成・活用

オンデマンド動画の作成・活用上の工夫は、動画の撮影スタイルや撮影手法、編集手法といった各々の動画を作成する際の工夫と、作成された動画の組合せや対面研修との組合せ、成果確認といった動画の活用についての工夫の2つの観点で考えることができます。

それぞれの動画が質の高いものとなっていることが大切なのはもちろんですが、複数の性格が異なる動画を組み合わせることで多角的な学びを届けたり、対面研修との組合せを想定して動画作成を行ったりすることで、より効果的な研修とすることが考えられます。次のページ以降で、それぞれの工夫について参考事例とともに紹介します。

カテゴリ	検討すべき観点	工夫の例	記載ページ
Ⅰ．動画の作成	撮影スタイル	事例型(授業等/ミニドラマ)	P.6,7
		対話型(インタビュー/掛け合い)	P.8,9
		講義型	P.10
	撮影手法	スタジオ設備	P.12
		360度カメラ	P.13
		VR	P.14
	編集手法	基本的な編集上の工夫	P.16,17
		サムネイルの工夫	P.18
Ⅱ．動画の活用	動画の組合せ	事例型・対話型・講義型の組合せ	P.21,22
	対面(オンラインライブ)研修との組合せ	研修の中での活用	P.24
		研修の前後での活用	P.25
	成果確認	動画内容に関する振り返り	P.27,28
		行動に関する振り返り	P.29

I 動画の作成

～撮影スタイル～

事例型(授業等)

概要

- 授業場面や学校の様子などを撮影した動画です。

ポイント

留意点

- 実際の授業場面等が題材に使われているため、視聴者が、自身が授業等を行う際のイメージが湧きやすくなります。
- 授業動画をそのまま流すだけでなく、テロップやナレーションで解説を加えることで、視聴者に注目ポイントを示すこともできます。
- 児童や生徒等、動画に映る可能性のある方の肖像権については、撮影前に説明し許諾を得る必要がある点に留意しましょう。

参考事例

実施主体

- 大分県教育委員会

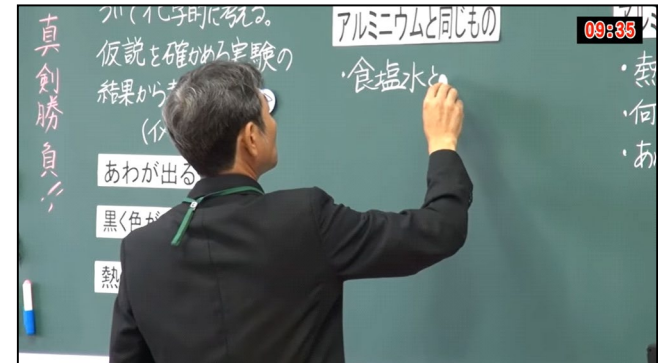
動画名

- 大分県教育庁チャンネル

URL

- <https://www.youtube.com/channel/UCUgnOIPSzhqXLs2XcpwUH7g>

イメージ



事例型(ミニドラマ)

概要

- 研修担当や役者が、授業等の現場をドラマ仕立てで再現したミニドラマを活用した撮影スタイルです。

ポイント

留意点

- 実際の授業場面の活用が難しい場合などに、ミニドラマの撮影可能性を検討します。
- 授業等の動画を活用した事例型と同様、ミニドラマをそのまま流すだけでなく、テロップやナレーションで解説を加えることで、視聴者に注目ポイントを示すこともできます。
- 演じている様子が実際の現場と乖離すると、視聴者からの共感が得られにくくなるため、教職経験者に監修してもらうなど臨場感の創出に気をつけるとよいでしょう。

参考事例

実施主体

- 東京都教職員研修センター

動画名

- ベーシックスキルレッスン

URL

- https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/basicskill_lesson.html

イメージ



対話型（インタビュー）

概要

- 教育現場で働く方々を対象にインタビューする形式です。
- 取組みを進めている方の生の声を届けます。

ポイント

- 現場で業務にあたる教職員の生の声を届けることで、実際の現場での工夫・苦勞を伝えることができます。

留意点

- 同じ立場である教職員がインタビューに回答する様子を視聴してもらうことで、視聴者が自分事としてとらえやすくなります。

参考事例

実施主体

- 松江市教育委員会

動画名

- 松江市教育委員会学校教育課公式チャンネル

URL

- <https://www.youtube.com/watch?v=-VIBj-lf5WM>

イメージ



対話型(掛け合い)

概要

- 2名以上が対話する形式です。
- 登壇者は、進行役と説明役等、それぞれ役割を担うこととなります。

ポイント

留意点

- 進行役が動画内で質問やポイントを強調をすることで、視聴者が抱く疑問へ疑似的な応答することや、重要なポイントがどこか伝えることができます。
- 単に複数名にご登壇いただくのではなく、受講者への伝わりやすさを考えた役割を検討し、登壇者それぞれの役割を事前に定めたいうで撮影に臨みましょう。

参考事例

実施主体

- 長野県教育委員会

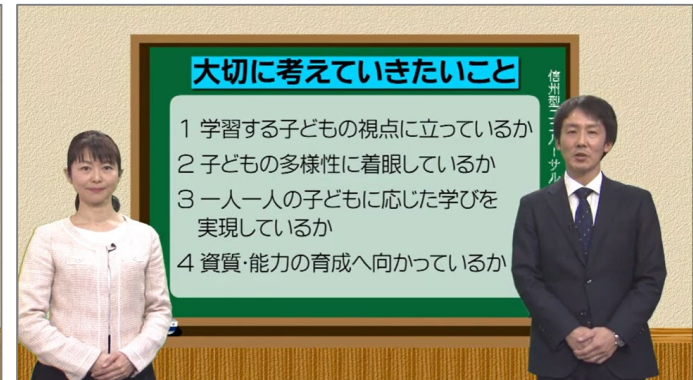
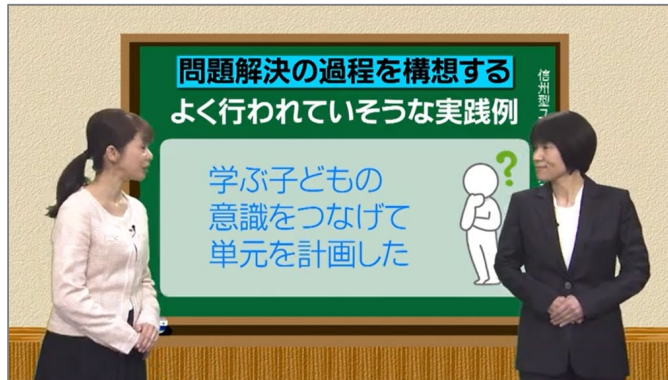
動画名

- 信州型ユニバーサルデザイン研修シリーズ

URL

- <https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyogaku/gakko/sonota/ud.html>

イメージ



講義型

概要

- ・ 研修動画に講師1名が登壇する撮影スタイルです。
- ・ 講師が受講者に向けて、研修テーマに関連する講義を実施します。

ポイント 留意点

- ・ 講義資料を投影しながら説明することで、動画視聴のみで完結可能です。
- ・ 話者が一人のため、単調にならないよう話す速度や口調を工夫しましょう。
- ・ 体系的な研修の際には講義型に他の手法を取り入れる等構成を工夫しましょう。

参考事例

実施主体

- ・ NITS(教職員支援機構)

動画名

- ・ NITS校内研修シリーズ

URL

- ・ <https://www.nits.go.jp/materials/intramural/>

イメージ

1 男女共同参画の推進が求められる背景

国際社会の「ジェンダー平等」の加速の背景に
「地球規模の持続可能性」

持続可能な開発目標 (SDGs)
2015年国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に、
「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため掲げら
れた2030年を年限とする17の目標

学習指導要領では
「持続可能な社会の創り手」
の育成が掲げられている



独立行政法人教職員支援機構

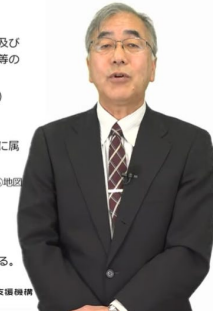
1 著作権とは

著作権法 (目的、著作物、著作者)

【目的】
「この法律は、著作物並びに実演、レコード、放送及び有線放送に関し著作者の権利及びこれに隣接する権利を定め、これらの文化的所産の公正な利用に留意しつつ、著作者等の権利の保護を図り、もつて文化の発展に寄与することを目的とする。」(第1条)
著作物・権利の確定 → 公正な利用と権利の保護 → 文化の発展に寄与 (目的)

【著作物】
「思想又は感情を創作的に表現したものであつて、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するもの」(第2条第1項第1号)
例示①小説、脚本、論文、講演、②音楽、③舞臺又は無言劇、④絵画、版画、彫刻、⑤建築、⑥地図又は学術的な性質を有する図面、図表、模型、⑦映画、⑧写真、⑨プログラム (第10条)

【著作者】
「著作物を創作する者」(第2条第1項第2号)
→ 児童生徒が創作した作文、図画は「著作物」となり、児童生徒は「著作者」となる。



独立行政法人教職員支援機構

I 動画の作成

～撮影手法～

スタジオ設備

概要

- ・ スタジオ設備を利用した撮影です。
- ・ 対話型や講義型等において講師の講話パート等を撮影するために使用します。

ポイント

- ・ 定点カメラを用いての撮影となります。
- ・ 設備整備が難しい場合には、専門的な技術・知見を持つ民間企業等と提携することで高水準の動画を撮影することが可能となります。

留意点

参考事例

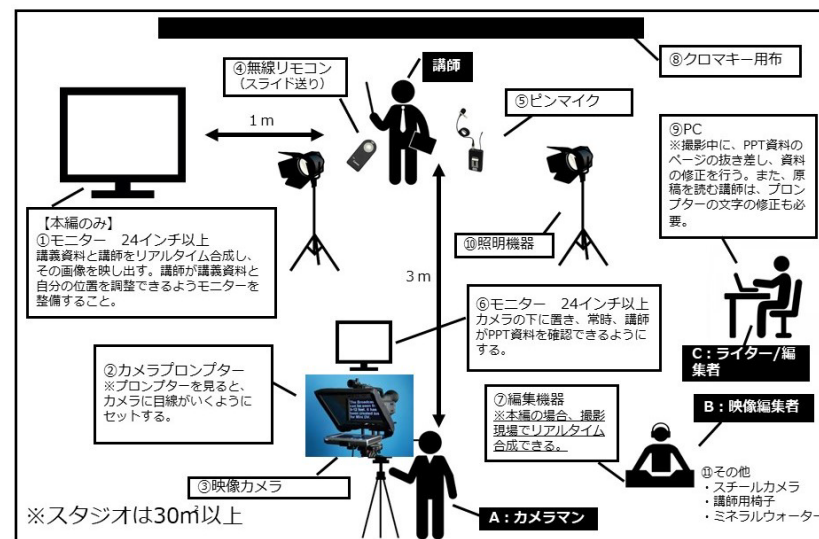
実施主体

- ・ NITS(教職員支援機構)

イメージ



< 教職員支援機構のスタジオ >



< 必要な機材とスタッフ >

360度カメラ

概要

- 360度撮影ができるカメラを用いて撮影した映像を研修に活用する手法です。
- 撮影の際は、全体を見渡せる場所やグループの中心にカメラを置き撮影します。

ポイント

- 指導者側と児童・生徒側の双方の様子を同時に撮影できる点が、一般的な定点撮影カメラによって撮影された映像との大きな違いです。

留意点

- 指導者の様子、児童・生徒どうしの関わりや動き、表情、端末画面など研修受講者が多様な視点で授業等を見ることができ点が大きなメリットです。

参考事例

実施主体

- 三重大学教育学部附属小学校

URL

- https://www.pef.or.jp/database/pdf/2021/2021_16.pdf

イメージ



VR

概要

- コンピューターによって創り出された仮想的な空間を現実であるかのように疑似体験できる仕組みです。
- 映像を立体視することができ、専用ゴーグルを活用することで、映像の中を自由に歩いたり動いたりする体験が可能となります。

ポイント

留意点

- 一般的な研修動画に比して高い没入感を創出することで、現地に赴かずとも受講者自身が教室などの現場にいるような感覚での受講が可能となります。
- 専用の撮影機材や精通した撮影スタッフ、専用ゴーグルが必要となるなど、撮影技術や機材調達における人材・費用の面での考慮が必要です。

参考事例

実施主体

- NTTラーニングシステムズ株式会社

取組名

- NTT XR VRを用いたハラスメント教育

URL

- <https://hr.nttls.co.jp/hrd/program-search/business/detail/72>

イメージ



I 動画の作成

～編集手法～

基本的な編集上の工夫

概要

- ・ 受講者が動画を不自由なく視聴できるように、視覚・聴覚の面から工夫します。

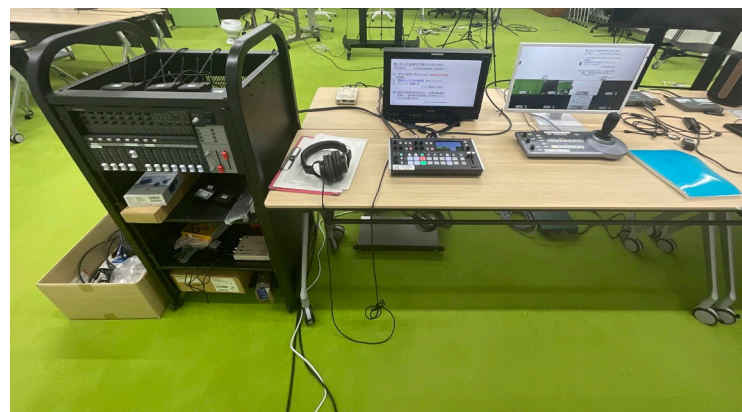
【編集作業】

動画を編集する際は、以下の内容について調整しましょう。

- ① 画面の明るさの調整
- ② 音声の調整(音響効果の挿入・雑音の除去等)
- ③ 動画時間の調整(不要な部分のカット)
- ④ テロップや字幕の挿入
- ⑤ サムネイルの作成

ポイント

留意点



< 教職員支援機構の編集機材 >

ポイント
留意点

【編集後の確認】

動画の編集が終わったら、見づらい点や聞きづらい点がないか、複数回・複数名で確認します。

①視覚面⇒画面の明るさ、画質、文字サイズに見づらい点がないか確認しましょう。

②聴覚面⇒音質・音量が適切か、聞きづらいかどうか確認しましょう。

改善しない場合には、マイクなどの撮影機材の見直しを検討しましょう。

参考事例

実施主体

- NITS(教職員支援機構)

動画名

- 実践力向上シリーズ

URL

- <https://www.nits.go.jp/materials/practical/>

イメージ

2 「すぐに役立つ研修」とは
「実践力向上」のニュアンス
…今日、明日にでも役立つ知識・技術（ノウハウ）
↓ ↓ ↓ ↓
本来「手段」のはずが「目的」に置き換わる傾向

「高い山を築くには広い裾野が必要」
↓ ↓
学校の総合力 学び合う教職員の風土
↑ ↑
個の総体 同僚への働きかけ

← 「実践力向上シリーズ」での学びを通して



独立行政法人教職員支援機構

1. 教職員による問題解決型学習

なぜ格差が生じるのか？

パソコン室

よく使う学級

あまり使わない学級




独立行政法人教職員支援機構

サムネイルの工夫

概要

- ・ ホームページや、YouTube等の動画プラットフォームに表示される、見本となる縮小画像をサムネイルと呼びます。

ポイント

- ・ 動画の内容を分かりやすく示し、興味を喚起するような画像をサムネイルとして設定することが重要です。

留意点

- ・ 例えば、動画に登場する人物や建物の画像を差し込んだり、文字のフォントを大きくカラフルにするなどの工夫が考えられます。

参考事例

実施主体

- ・ 文部科学省

動画名

- ・ ゼロから始める！ICTを活用した校務効率化【小学校編】／【中学校編】

URL

- ・ https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/hatarakikata/mext_00001.html

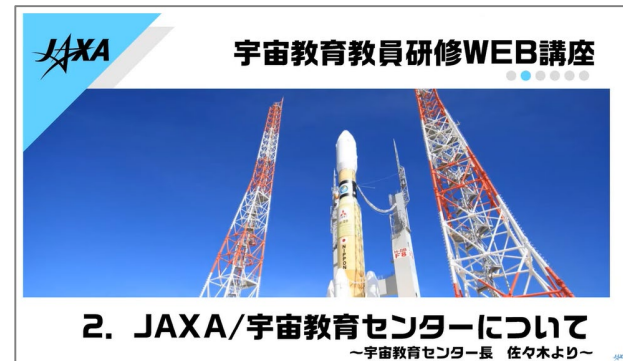
イメージ



- ・ JAXA 宇宙教育センター

- ・ JAXA宇宙教育教員研修WEB講座

- ・ https://www.youtube.com/watch?v=7e0HKt2_ryg



Ⅱ 動画の活用

～動画の組合せ～

動画の組合せについて考える前に・・・

動画の組合せについて考える前に、適切な動画時間を検討することが大切です。例えば120分の動画コンテンツ(シリーズ)を作成する場合、シリーズを構成するそれぞれの動画の長さは、10分程度の短尺なものから、120分程度の長尺なものまで様々考えられます。トピックに応じてそれぞれの動画に相応しい適切な動画時間を検討した上で、各動画の組み合わせ方を検討しましょう。また、定着を促すために、テストやレポートなど振り返りのための画像や動画を動画の間に挟むといった工夫も考えられます。

【120分の動画コンテンツ(シリーズ)を作成する場合】

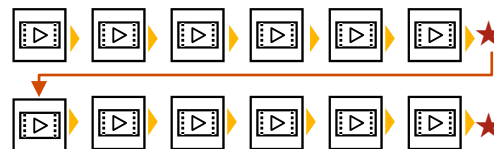
①120分×1



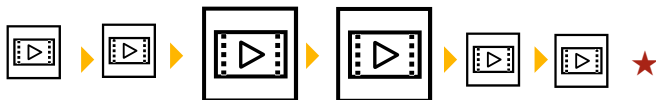
②40分×3



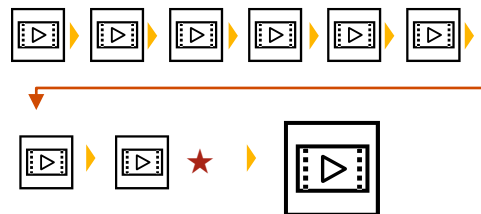
③10分×12



④40分×2+10分×4



⑤40分×1+10分×8



※ ★は振り返り用の画像・動画を示す。詳細は、P.27,28,29を参照

事例型・対話型・講義型の組合せ

概要

- 事例型、対話型、講義型といった複数の動画を組み合わせてシリーズものを作成することが可能です。

ポイント

- 事例型、対話型、講義型といった性格の異なる動画を組合せることで、テーマは同じであっても、多角的に理解したり、多様な視点から考えたりすることを促すことができます。

留意点

- 伝えたい内容や考えを促したい事柄に即して、それぞれの動画の組合せ方を検討します。

参考事例 1 「講義型→事例型(授業等)→講義型」

実施主体

- 文部科学省

動画名

- 国立教育政策研究所「平成30年度全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた理科の学習指導の改善・充実に関する指導事例集」

URL

- <https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbCUUkEA96FCWNomkOsW4oB8>

イメージ

【講義型】

単元 物と重さ (全8時間)
本時 物の重さを調べよう (第3・4時)

<本時の目標>
粘土以外の物の形を変えたときの重さについて、複数の実験結果を基に分析して考察し、自分の考えを表現することができるようにする

<問題>
物は、形が変わっても重さは変わらないのだろうか

【事例型(授業等)】



【講義型】

ここまでの「分析」の場面について
指導のポイント
目的に応じて情報を整理した上で考察を行う場面を設定する

結果のカード
アルミはく
角ざとう
紙コップ
材質によつて色分け

グループの発表ボード
個人心グループで考察

板書
けっかから
1はん 2はん 3はん 4はん
おろろろ おろろろ おろろろ おろろろ
グループの考察を学級で共有

参考事例 2 「講義型→事例型(ミニドラマ)→講義型」

実施主体

- ・ 東京都教職員研修センター

動画名

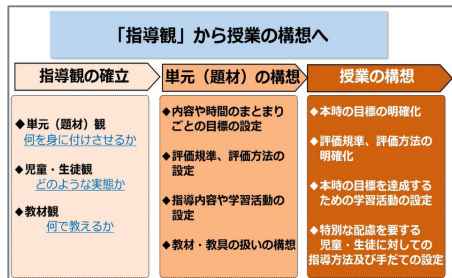
- ・ ベーシックスキルレッスン

URL

- ・ https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/basicskill_lesson.html

イメージ

【講義型】



【事例型(ミニドラマ)】



【講義型】



参考事例 3 「対話型(インタビュー)→事例型(授業等)→対話型(インタビュー)」

実施主体

- ・ 文部科学省

動画名

- ・ 教員業務支援員を活用した働き方改革の取組事例

URL

- ・ <https://www.youtube.com/watch?v=ll9O15l2xq8>

イメージ

【対話型(インタビュー)】



【事例型(授業等)】



【対話型(インタビュー)】



Ⅱ 動画の活用

～対面（オンラインライブ）研修との組合せ～

研修の中での活用

概要

- 研修動画は、対面（オンラインライブ）研修に活用されることを想定して作成することも考えられます。
- 例えば、60分の校内研修を想定し、その冒頭に視聴される短尺の動画として作成するなどです。

ポイント 留意点

- 研修講師の招へい等に代わるものとして活用されることが想定されます。
- 研修のテーマとして取り上げられやすい事柄を動画のテーマとして選定することで、研修動画の活用機会が向上します。

参考事例

実施主体

- NITS(教職員支援機構)

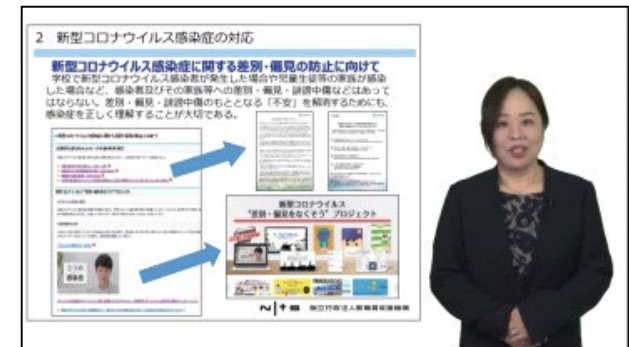
動画名

- NITS校内研修シリーズ

URL

- <https://www.nits.go.jp/materials/intramural/>

イメージ



研修の前後での活用

概要

- 研修動画は、対面（オンラインライブ）研修の前後に活用されることを想定して作成することと考えられます。

ポイント

（研修前）

- 双方向で行われる対面（オンラインライブ）研修の事前学習として、基礎的な知識を学ぶことなどを目的に研修動画を作成します。

留意点

（研修後）

- 対面（オンラインライブ）研修の内容の振り返りやまとめを促すことを目的に研修動画を作成します。

参考事例

実施主体

- 愛媛大学

動画名

- ブレンディッドラーニングで実現した効果的な授業運営

URL

- https://nakamichi.opar.ehime-u.ac.jp/pdf/jirei/11_use.pdf

イメージ

授業形態	回	授業形態	概要
	1	対面授業	オリエンテーション/【第1章】文の長さ・句読点・かかり受けを学ぶ/【第2章】単語・文・段落を学ぶ
	2	eラーニング	【第1章】【第2章】の振り返り（ポートフォリオ）
	3	対面授業	【第3章】ものごとを正しくとらえ、分かりやすく伝える 【第4章】資料を解釈し、説明する
	4	eラーニング	【第3章】【第4章】の振り返り（ポートフォリオ）
	5	対面授業	【第5章】仮説を立て、考えを組み立てる 【第6章】確かな解釈に基づき、主張する
	6	eラーニング	【第5章】【第6章】の振り返り（ポートフォリオ）
	7	対面授業	【第7章】主張を検証し、批判する
	8	eラーニング	【第7章】の振り返り（ポートフォリオ） 最終試験及び全体の振り返り

授業スケジュールモデル	週	月	火	水	木	金	土	日
	1週目			第1回目 対面授業				
	2週目			第2回目：eラーニング（受講期間）				
	3週目		教員・TS・SA 進捗確認作業	第3回目 対面授業				
	4週目			第4回目：eラーニング（受講期間）				
	5週目		教員・TS・SA 進捗確認作業	第5回目 対面授業				
	6週目			第6回目：eラーニング（受講期間）				
	7週目		教員・TS・SA 進捗確認作業	第7回目 対面授業				
	8週目			第8回目：eラーニング（受講期間）				

Ⅱ 動画の活用

～成果確認～

動画内容に関する振り返り

概要

- ・ 知識の定着や理解の深まりのために、動画内容に関する振り返りを促す仕掛けです。

ポイント

- ・ 例えば、テスト形式やレポート形式、対話を促す形式などが考えられます。

留意点

参考事例

実施主体

- ・ NITS(教職員支援機構)

動画名

- ・ NITS校内研修シリーズ、実践力向上シリーズ

URL

- ・ <https://www.nits.go.jp/materials/intramural/>

イメージ

【テスト形式】

NITS オンライン動画視聴後の「振り返りシート」 <校内研修シリーズ>

【No120:カリキュラム・マネジメント】

Step.1:スライドなどで以下の様な問題を提示し、基礎的な知識の確認を行う。(3問程度)

(1) 動画内での、カリキュラム・マネジメントについての説明をふまえ、□のなかの
() に当てはまる語句を書きましょう。

○各学校において、各教科等の教育内容の組織化をはかり、(①) を編成し、
資源の投入や協働を促すなど諸条件の効果的な活用を通して、(②) の実現
をめざす営み。

○学習や生活の指導にあたる「教育」と組織運営に関わる「マネジメント」を結び、学校
における (③) の向上をめざす営み。

【レポート形式】

NITS オンライン動画視聴後の「振り返りシート」 <実践力向上シリーズ>	
動画タイトル	
視聴日	
① 動画の内容から、今後の指導に生かしたいことは何ですか	

イメージ

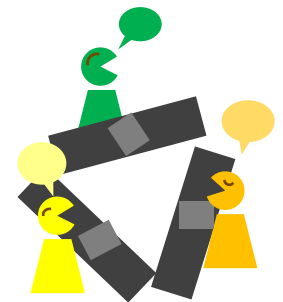
【対話を促す形式】

NITS オンライン動画視聴後の「振り返りシート」 <校内研修シリーズ>

【No113:人権教育】

Step.2:以下のような問題を提示し、回答内容についてグループで検討を行ったり、実際の指導例を持ち寄り、再検討したりする。(1問程度)

学習指導要領の要点とされる「カリキュラム・マネジメント」「主体的・対話的で深い学び」「ICT 機器の利点を活かした学習」は、人権教育において、これまで以上に効果的に取り入れることが期待されています。具体的な人権教育の取り組みをあげて、これらの要点を組み入れた計画をたててみましょう。



行動に関する振り返り

概要

- 行動変容を促すため、研修から一定期間後に、自らの行動に関する振り返りを促す仕掛けです。

ポイント

- 例えば、選択式や記述式などが考えられます。
- 記述式よりも選択式の方が回答者の負担は少ないものの、選択式の場合は振り返りが十分深くない可能性がある点に留意してください。

留意点

- 研修受講後、行動変容につながるまでには一定の期間を必要とすると想定されるので、数か月経過後に振り返りが行われるよう工夫することが考えられます。

イメージ

【選択式】

1. 本研修で学んだ内容を、学校や授業の現場に活用できていますか

- A) かなり活用できている
- B) ある程度活用できている
- C) どちらともいえない
- D) あまり活用できていない
- E) 全く活用できていない

⋮

【記述式】

1. 本研修で学んだ内容を、学校や授業の現場に活用できていますか。具体的に活用している場面等についてお答えください。

[]

令和5年3月 作成

発行	独立行政法人 教職員支援機構 〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地(つくば本部) 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター11階(東京事務所)
協力	PwCコンサルティング合同会社 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One タワー